チェンバロ ＊ オルガン de 深堀り！音楽サロン

第３回

宮廷やサロンで愛されたチェンバロ × 楽器の王様と称されるオルガン
二つの楽器の響きと共にバロック期の隠れた名作曲家を探る新シリーズ
全３回

２人のムファット
～その華麗なる鍵盤芸術～
Georg Muffat & Gottlieb Muffat

ゲオルク・ムファット（1653-1704）
トッカータ　第7番
パッサカリア ト短調

ゴットリープ・ムファット（1690-1770）
オルガン・ミサ　ヘ長調より
トッカータと６つのフーガ 第4番　他

Cembalo
宮﨑 賀乃子

Orgel
徳田 佑子

2022年 10 月 8 日（土）

松本記念音楽迎賓館 Aホール
東京都世田谷区岡本2-32-15

昼公演：14時30分　夕公演：17時　開演　※休憩なし60分程度
（両公演とも開演30分前に開場）

入場料：一般 3,500円　ペア 6,000円　（限定 25席 全席自由）　事前予約制

松本記念音楽迎賓館 アクセス

問い合わせ／入場申し込み
CembalOrgel音楽サロン事務局
salon.cembalorgel@gmail.com

写真：松本記念音楽迎賓館

～本シリーズにあたって～

17-18世紀初期の鍵盤音楽家の多くは宮廷や教会で、チェンバリストまたオルガニストとして活動をしていました。彼らの楽曲はジャンルに応じて、例えば舞曲はチェンバロやクラヴィコードを、またコラール編曲はオルガンを想定していたと考えられますが、それでも当時、これらの楽器はかなりのレパートリーを共有していました。

本シリーズは全３回にわたり、ドイツとその周辺地域のバロック時代を彩った音楽家５人をクローズアップし、毎回チェンバロとオルガンの両方で、彼らの鍵盤作品が織りなす豊かな世界を深掘りしていきます。

シリーズ最終回は、17世紀後期に南ドイツを中心に鍵盤音楽の魅力を一層高めたゲオルク・ムファットと、その息子でウィーン宮廷音楽家として務めたゴットリープ・ムファットの作品をご紹介いたします。フランス様式とイタリア様式を巧みに融合させたゲオルクによるオルガン作品、ゴットリープによるチェンバロのための大規模な組曲など、両楽器の特性を活かした音楽をご紹介いたします。18世紀のヘンデルやバッハへとつながる鍵盤芸術をどうぞお楽しみください。

宮﨑 賀乃子 Kanoko Miyazaki *Cembalo*

東京藝術大学音楽学部器楽科古楽チェンバロ専攻卒業後、ケルン音楽大学大学院にてチェンバロ専攻修了。平成22年度文化庁新進芸術家海外研修派遣員。在独中にアンサンブルやソロでヨーロッパ各地の音楽祭に多数参加。東京藝術大学教育研究助手（古楽）を経て、同大学大学院博士後期課程に進学。フローベルガーの「組曲」について研究し、博士号（音楽）を取得。併せて第2回台東区長賞を受賞。チェンバロを辰巳美納子、鈴木雅明、大塚直哉、シェティル・ハウグサンの各氏に師事。また、室内楽をコンラート・ユングヘーネル氏に師事。日本チェンバロ協会所属。国立音楽大学非常勤講師。

徳田 佑子 Yuko Tokuda *Orgel*

国立音楽大学音楽学部音楽学学科卒業。東京藝術大学大学院古楽専攻（バロックオルガン）修士課程修了。オルガンを深井李々子、廣野嗣雄、大塚直哉、長谷川美保の各氏に師事。2017年、第33回白川・イタリアオルガンアカデミーでピストイア賞を受賞。ソロおよび古楽アンサンブルの活動を行う傍ら、スウェーデン、オランダ、ドイツ他、各地のバロックオルガンによる講習会で研鑽を積む。これまでにイタリアとドイツでリサイタルを行った。東京藝術大学教育研究助手（古楽）を経て、現在、青山学院大学および日本バプテスト同盟捜真バプテスト教会（所属）、St. Michael Tokyo各オルガニスト。
日本オルガニスト協会、日本オルガン研究会会員。

～ご来場に際しまして～

お客様に安心してお楽しみ頂くため以下のような感染症予防策を講じます。
〇定期的な換気・お客様入れ替え時の消毒
〇受付でのチケット受け渡しを避け、プログラムはお席へ配布
〇客席どうしの距離をあけ、ゆったりお座りいただくよう設置

ご来場のお客様には以下の事項についてご協力賜りたくお願い申し上げます。
①館内でのマスク着用
②お出かけ前に検温の上、発熱や風邪等の症状がある場合は来館をお控えください。
③終演後のご挨拶・歓談はご遠慮させていただきます。

＊松本記念音楽迎賓館 アクセス＊

＜東急田園都市線「二子玉川駅」よりバス利用＞
東急バス玉31系成城学園前駅行き：「岡本三丁目」下車　徒歩5分
東急バス玉30系玉川病院循環：「民家園」下車　上り坂を徒歩4分

＜小田急線「成城学園前駅」よりバス利用＞
東急バス玉31系二子玉川駅行き：「岡本三丁目」下車　徒歩5分

後援　日本チェンバロ協会